

リンパの3つの役割

- 余分な水分と老廃物回収

静脈を通る血液とリンパ管を通るリンパ液は、老廃物の回収と運搬という同じ働きをするが、大きな違いは老廃物の大きさ。

リンパ管

血管に回収しきれなかった大きなゴミを回収

リンパ液

体の中の脂肪の運搬や組織液に混ざっている傷ついた細胞、がん細胞、ウイルスや細菌などの異物も集めて運搬

● 老廃物のろ過機能

リンパ管には、ところどころにリンパ液のろ過装置である**リンパ節**がある。



老廃物(尿酸やアンモニア、尿酸など)をろ過する機能

リンパ節の形と数と分布

やや扁平なソラマメ状で、直径約1mmと小さいものから、2.5cm位の大きいものまでである。

人の体に平均650個、特に胃や腸など消化器周辺に約200個と多く分布。

後頭部の髪の毛の生え際、耳の前後、首筋、腋の下、鼠頸部、足の付け根などに多く見られる。

リンパ節はフィルター役目

リンパ液は、リンパ節を通過するたび、リンパ節にある細かいフィルター(メッシュ構造)で老廃物を取り除かれていく。

その後、リンパ液は再び静脈に入り、きれいな状態で心臓へと戻っていく。

リンパ節は不要な老廃物をろ過して、体内の体液をクリーンにする重要なシステムでもある。

● 免疫機能

血液中の白血球は免疫細胞として生体を防御するために働いている。白血球には、リンパ球、単球、顆粒球と複数の細胞がある。中でも「**リンパ球**」は「免疫」の主役だ。

リンパ液によって運ばれてきたウイルスや細菌

リンパ球のT細胞、B細胞、NK細胞によって分解処理され、死滅

また、リンパ節には、リンパ球のほかに、リンパ球が退治したウイルスや細菌の残骸を食べてくれる掃除担当のマクロファージがいる。

抗体もつくられ、次に同じ病原菌や細菌が体内に侵入してきた時、すぐに反応できる準備している。